令和5年４月２８日

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

（あて先）京田辺市議会議長

申請者　自民一新会
久保　典彦　　印

京田辺市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条の規定により、次のとおり提出します。

〔収　　入〕　（単位：円）

科　　目	本年度決算額	備　　考
交　　付　　金	1,080,000円	15,000×12×6=1,080,000（6人分）
合　　計	1,080,000円	

〔支　　出〕　（単位：円）

科　　目	本年度決算額	備　　考
調　査　研　究　費	573,740円	内閣府・国土交通省・調布市・町田市
研　　修　　費		
広　　報　　費	453,156円	会派議会だより （制作費・ポスティング費用）
広　　聴　　費		
要請・陳情活動費		
会　　議　　費		
資　料　作　成　費		
資　料　購　入　費		
事　務　所　費	21,244円	コピー用紙・印刷機インク代
合　　計	1,048,140円	

収 支 差 引 残 額	31,860円

【政務活動費支出明細表】

会派名　自民一新会　　令和4年度

月日	支出科目	摘　要　欄 品目名	支出金額
2022/5/16	調査研究費	交通費：新幹線代（京都～東京・橋本～京都） 西日本旅客鉄道株式会社	¥168,000
2022/5/16	調査研究費	講師の土産代（内閣府・調布市・町田市）	¥16,059
2022/5/18	調査研究費	交通費：電車代（新田辺～京都）往復（6名分） 近畿日本鉄道株式会社	¥4,920
2022/5/18	調査研究費	昼食代	¥6,924
2022/5/18	調査研究費	夕食代(1,570円は自己負担)	¥32,280
2022/5/18	調査研究費	宿泊費（シタディーンセントラル新宿東京ホテル）	¥56,520
2022/5/19	調査研究費	昼食代	¥6,520
2022/5/19	調査研究費	交通費：電車代（新宿～調布）（6名分） 京王電鉄株式会社	¥1,500
2022/5/19	調査研究費	交通費：電車代（調布～橋本）（6名分） 京王電鉄株式会社	¥1,860
2022/5/19	調査研究費	交通費：電車代（橋本～町田）（6名分） JR東日本	¥1,320
2022/8/22	事務所費	インク代	¥8,880
2022/11/21	事務所費	コピー用紙代	¥4,920
2023/1/24	広報費	会派議会だより　制作費（22,000部・1枚9.59円）	¥211,156
2023/1/25	広報費	会派議会だより　ポスティング費用	¥242,000
2023/1/29	調査研究費	交通費：新幹線代（京都～東京・東京～京都） 西日本旅客鉄道株式会社	¥167,640
2023/1/31	調査研究費	交通費：電車代（新田辺～京都）往復（6名分） 近畿日本鉄道株式会社	¥4,920
2023/1/31	調査研究費	交通費：電車代（東京～国会議事堂前）（6名分） 東京メトロ	¥1,020
2023/1/31	調査研究費	昼食代	¥6,400
2023/1/31	調査研究費	交通費：電車代（永田町～飯田橋）（6名分） 東京メトロ	¥1,020
2023/1/31	調査研究費	宿泊費（後楽ガーデンホテル）	¥59,400
2023/1/31	調査研究費	夕食代（600円は自己負担）	¥29,400
2023/2/1	調査研究費	交通費：電車代（飯田橋～永田町）（6名分） 東京メトロ	¥1,020
2023/2/1	調査研究費	昼食代	¥7,017
2023/3/7	事務所費	インク代	¥7,444

※政務活動における研修費にかかる報告、調査研究費にかかる視察報告、要請・陳情活動費にかかる報告書、資料購入費における資料、政務活動費を使った作成物（議会報告ビラ等）については、別途、資料も公開しております。

合計支出	¥1,048,140

令和４年６月１０日

（あて先）京田辺市議会議長　松村　博司

京田辺市議会
会　派　名　自民一新会
代表者氏名　久保　典彦

研修報告書

次のとおり報告します。

研　修　項　目	１．国土強靱化の推進について　２．緑の基本計画について ３．都市づくりのマスタープランについて　４．表敬訪問
実 施 年 月 日	令和４年５月１８日（水）～５月１９日（木）
実　施　場　所	議員会館 東京都調布市　東京都町田市
参 加 者 氏 名	松村博司・久保典彦・田原延行・橋本善之・ 榎本昂輔・岡嶋一晃
費　　用	２９５，９０３円

【内容】別紙のとおり

京田辺市議会 自民一新会

行政視察研修 報告書

研修日　　令和４年５月１８日（水）～１９日（木）

研修内容　１．内閣官房 国土強靱化推進室（議員会館）
「国土強靱化の推進について」

２．調布市（調布市役所）
「緑の基本計画について」

３．町田市（町田市役所）
「都市づくりのマスタープランについて」

４．表敬訪問

参加議員　松村 博司・久保 典彦・田原 延行・橋本 善之
榎本 昂輔・岡嶋 一晃

１． 国土強靭化の推進について （政府 内閣官房）

調査日時： 令和４年５月１８日（水） １４時～１５時
場　所　： 議員会館
応対者　： 内閣官房 国土強靭化推進室 企画官　 工藤 健一 様

【内　容】

以下の内容について、国としての考えとレクチャーを受けた。

1) 国土強靭化とは
2) 国土強靭化の経緯と推進の枠組み
3) 国土強靭化関係予算
4) 防災・減災、国土強靭化のための３か年緊急対策
5) 防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策
6) 国土強靭化の効果発揮事例
7) 国土強靭化地域計画
8) 民間の取組促進

- 頻発する大規模自然災害に対し、①人命の保護が最大限図られること、②国家や社会の重要な機能が致命的な障害を受けずに維持されること、③国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化、④迅速な復旧・復興、を基本目的とした計画としている。
- ３か年緊急対策は、平成３０年度～令和２年度の３年間、５か年加速対策は令和３年度～令和７年度の５か年の対策としている。
- 国土強靭化関係予算は、平成３０年度５．０２兆円、令和元年度６．４６兆円、令和２年度７．４５兆円、令和３年度６．２５兆円、令和４年度６．０８兆円となっている。
- ３か年緊急対策についての予算は、全体で７兆円を確保し、１６０項目の緊急対策を実施 した結果、全体としては目標をおおむね達成した。
- ５か年加速化対策についての予算は、全体でおおむね１５兆円程度を目途とし、重点的に 取り組む対策・事業規模は、１９７項目を計画している。
- 国土強靭化地域計画の策定の促進を図るため、市町村首長・職員を対象とする出前講座の実施や説明会の実施を行い、国土強靭化地域計画策定のための支援を行っている。

【議員からの主な質問】

- 国が定める国土強靭化基本計画と、都道府県や市町村が定める地域計画の関連性と連携協力体制はどのように維持されているのか。
- 京田辺市国土強靭化地域計画は、総花的な仕上がりとなっている。本来なら、地域性や 地理的条件により、計画に違いがあっても良いと思うが、本市の計画にはその特色が見られないが。
- 東日本大災害に見られるような広範囲の災害に対して、国はどのような体制を取るのか。また、その際の市町村の関わり・連携はどのように認識しておくべきか。

２． 緑の基本計画について （東京都調布市）

調査日時： 令和４年５月１９日（木） １０時～１１時３０分
場　所　： 調布市役所
応対者　： 議会事務局 次長　　半沢 清美 様
議会事務局 主任　　岡村 章央 様
都市整備部 次長　　花岡 大 様
環境部緑と公園課 課長　秋場 豊 様

【調布市の概要】

東京都のほぼ中央、多摩地区の南東部に位置し、新宿副都心まで15km の距離にある中堅都市であり、令和2年（２０２０年）に市制施行６５周年を迎え、人口は令和２年４月に２３万７千人と今なお増加と発展を続けている。

交通は、京王線･京王相模線が通るほか、甲州街道が東西を通り、中央自動車道の調布 ICがある。

調布市は、まちの発展と人口増加に伴う住宅開発の進展などにより、住宅用地が多く広がり、 国立大学や国の研究機関が立地しているため、公共用地も多くなっている。また、北西部の調 布飛行場周辺や北部の深大寺周辺、南部の多摩川沿いには公園・緑地が多い。

【内　容】

以下の内容について、調布市環境部緑と公園課から説明を受けた。

1) 調布市「緑の基本計画」と年次報告について

- 緑の基本計画は、都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進を総合的かつ計画的 に実施するため、平成6年（１９９４年）に創設され、平成１１年（１９９９年）に策定、平成２３年（２０１１年）に改めて期間を定め、新たな基本計画を策定した。
- 令和3年度（２０２１年）から令和２２年度（２０４０年）の２０年間を期間とし、主として都市計画区域が対象となる計画である。
- 緑の基本計画は、①調布らしいぬくもりのある緑や水の保全と活用、②みんなの笑顔につながる質の高い緑の創出、③みんなで育む自然豊かなまち、を基本目標として６項目の施 策の方針を策定した。

2) 調布市景観形成ガイドライン（緑の景観づくり国分寺崖線編）について

- 景観形成ガイドライン策定にあたり、調布市の景観は東西方向に連続する多摩川と野川、国分寺崖線が生み出す起伏に富んだ地形や崖地に残る緑地帯などが多いことから、ガイドラインを定め、市民、業者及び市が一体となって良好な景観形成に取り組んでいる。
- 景観形成ガイドラインは、崖地の斜面の使い方、斜面側に緑の配置と崖線の眺め、水利環 境に沿った樹種の選定などを定めたものとなっている。

【議員からの主な質問】

- 生産緑地２０２２年問題などで、農地転用などが緑地面積の減少につながると思うが、将来において緑地を確保する上での考えは。
- 市民参加のための仕組みづくりや意識の醸成、市民や業者及び行政が一体となった協働 は重要な要素であるが、それらの具体的な取り組みや方針は。

３． 都市づくりのマスタープランについて （東京都町田市）

調査日時： 令和４年５月１９日（木） １４時～１５時３０分
場　所 ： 町田市役所
応対者 ： 町田市議会 議長　戸塚 正人 様
議会事務局長　鈴木 秀行 様
都市づくり部 都市政策課 課長　岩岡 哲男 様
都市づくり部 公園緑地課 課長　新 聡 様
都市づくり部 都市政策課 都市計画係 係長　及川 直樹 様
都市づくり部 都市政策課 公園計画係 係長　新井 啓太 様

【町田市の概要】

東京都の多摩地区の南部に位置し、保健所政令市に指定されており、令和５年（２０２３年）に市制施行６５周年を迎える。人口は令和２年４月に４３万１千人と人口増加を続けている。

交通は、小田急小田原線、東急田園都市線、JR 横浜線、京王相模原線が通るが、市中心部は鉄道空白地帯を抱え、バスが主な交通手段として発達している。

町田市は、１９６０年代初頭より東京都の郊外ベッドタウンとして開発され発展した。現在は、 市内や近辺に大学や短大、高校が多く、町田駅付近の繁華街は学生を中心とした若者の街に変わりつつある。

【内 容】

以下の内容について、町田市都市づくり部都市政策課から説明を受けた。

1) 都市づくりマスタープラン策定経過（動機）及び策定体制について

- 新たな都市将来像・都市構造を設計し、分野横断的に施策を展開していく必要があるため、「都市計画マスタープラン」、「交通マスタープラン」、「住宅マスタープラン」、「緑の基 本計画」の４つのマスタープランを統合した「都市づくりマスタープラン」を策定した。
- 策定には、都市計画審議会特別委員会や街づくり審査会専門部会を組織し、執行部に対する諮問委員会とした。
- 都市づくりマスタープランは、「Ⅰ章 ビジョン編」、「Ⅱ章 方針編」、「Ⅲ章 コンテンツ編」の３章で構成されている。

2) 計画の内容について

- ビジョン編では、都市づくりのポリシーを設定し、都市づくりに関わるみんなが、どのように考えて取り組んでいけば良いか、基本的な考えを提示した。
- 方針編では、都市計画・交通・住まい・みどりの４つの項目に、それぞれの基本方針を示した上で、「暮らしとまちのビジョン」の実現に向け、分野横断的なリーディングプロジエクトを 推進することとしている。
- コンテンツ編では、さまざまなまちの単位で描いた内容を、まちづくりのコンテンツとして随 時位置づけ、随時更新を行えるようにしている。

3) マスタープランを統合してのメリット

① 検討コストの削減 … ４つの計画策定委員会を１つにし、委託料、報償費、職員への負担が低減できた。

② 将来像の共有 … 単体の計画では、描くことが難しかった「暮らしとまちのビジョン」を描くことができた。

③ 庁内の連携強化… 検討チームによるマスタープランの分野横断的検討が実施できた。

④ 分野横断的な施策推進体制を構築できた。

⑤ 状況に応じたフレキシブルな対応が可能となり、直近の社会情勢等やニーズを反映させた基本構想を策定できる。

【議員からの主な質問】

・ 町田市の柱としていることは何か、またウイークポイントがあれば教えて頂きたい。

・ マスタープランに掲げるビジョンの具現化は、行政だけではなしえないが、まちづくりのプレイヤーは市民であるといった意識のもとに、それぞれの役割や分担についてお聞きしたい。

４． 表敬訪問

（1）二之湯 智 大臣・国家公安委員会委員長内
閣府特命担当大臣（防災・海洋政策） 国
土強靭化・領土問題担当大臣
国家公務員制度担当大臣

訪問日時 ： 令和 4 年 5 月 18 日 13 時 ～ 13 寺 30 分

【面会者】

・ 二之湯 智 国家公安委員長
・ 国務大臣 国家公安委員長秘書官 岡田 忠治 様
・ 国務大臣秘書官 藤本 真也 様
・ 警察長長官官房調査官 飯崎 準 様
・ 警察庁調査官房 小林 央 様

(2) 西田 昌司 自由民主党 参議院議員事務所

訪問日時 ： 令和 4 年 5 月 18 日 15 寺 30 ～ 16時

【面会者】

・ 参議院議員 西田 昌司 秘書官 安藤 高司 様

(3) 京都府東京事務所

訪問日時 ： 令和 4 年 5 月 18 日 16 時 30分 ～ 17 寺

【面会者】

・ 京都府東京事務所 所長 島津 誉子 様

以上

令和５年２月２３日

（あて先）京田辺市議会議長　松村　博司

京田辺市議会
会　派　名　自民一新会
代表者氏名　久保　典彦

研修報告書

次のとおり報告します。

研　修　項　目	１．ミッシングリンク解消及び渋滞対策の取組みについて ２．地域公共交通に関する国土交通省の取組みについて
実 施 年 月 日	令和５年１月３１日（火）～２月１日（水）
実　施　場　所	１月３１日　参議院会館地下一階Ｂ１０８会議室 ２月１日　　参議院会館１階１０２会議室
参 加 者 氏 名	松村博司・田原延行・橋本善之・岡嶋一晃 久保典彦・榎本昂輔
費　　用	２７７，８３７円

【内容】

①１／３１　今後の地方自治体における公共交通のあり方について
（中山間地域の人の移動について）

②２／１　国土強靱化を踏まえたミッシングリンクの解消について
（全国の事例と補助メニューの紹介等）

京田辺市議会　自民一新会

行政視察研修　報告書

研修日　　令和5年1月31日（火）～2月1日（水）

研修内容　1．「ミッシングリンク解消及び渋滞対策の取組みについて」
　　国土交通省 道路局

　　2．「地域公共交通に関する国土交通省の取組みについて」
　　国土交通省 総合政策局

　　3．表敬訪問

参加議員　　松村　博司
　　久保　典彦
　　田原　延行
　　橋本　善之
　　榎本　昂輔
　　岡嶋　一晃

1．ミッシングリンク解消および渋滞対策について （国土交通省 道路局）

調査日時： 令和 5年 1月 31日（火） 10 時 ～ 11 時
場　所　： 参議員会館地下1階 B108 会議室
応対者　： 国土交通省 道路局 企画課 道路経済調査室長　 四童子 隆 様
国土交通省 道路局 環境安全・防災課課長補佐　 杉﨑 光広 様

【内　容】

以下の内容について、国としての考えとレクチャーを受けた。

1） 令和5年度概算要求のポイント
- 公共事業費の推移
- 令和4年度補正予算における主な道路関係施策
- 道路関係予算の推移（国費）

2） ミッシングリックの解消
- 道路の階層性と広域道路のネットワーク階層
- ミッシングリンクの整備状況（高規格道路）と諸外国との比較
- 京都府内の高規格道路のミッシングリンク・暫定2車線区間
- 地域の活性化（第二京阪道路）及び地域観光の支援（中部縦貫自動車道）
- 災害時の代替路確保（第二阪和国道）

3） 渋滞対策
- 渋滞による社会的影響と損失
- 国内外の交通渋滞の事例
- 渋滞対策協議会と官民連携による渋滞対策の推進
- 渋滞対策、対策メニュー（高速道路、観光地のピンポイント対策）
- 災害時交通マネジメント
- 道路交通アセスメントの運用（大規模施設等沿道立地による渋滞）

【議員からの主な質問】

【Q】 ミッシングリンク解消を踏まえた上で、どのような交付金があるのか。

【A】 社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金がある。

【Q】 京田辺市が計画している都市計画道路「大住草内線」及び、京都府が計画している「松井大住線」の交付金には適用できるのか。

【A】 社会資本整備総合交付金は、自由度が高く創意工夫を生かせる総合的な交付金で、成長力強化や地域活性化等につながる事業に活用出来る。交付率は、国が1／2、自治体が1／2の割合となる。
防災・安全交付金は、命と暮らしを守るインフラ再構築や生活空間の安全確保を集中的に支援するもので、新たな道路建設や拡幅などには使えない。

2. 地域公共交通に関する国土交通省の取組みについて
（国土交通省 総合政策局）

調査日時： 令和 5 年 2月 1日（水） 10 時 ～ 11 時 30 分
場　所　： 参議員会館1階 102 会議室
応対者　： 国土交通省 総合政策局 地域交通課 地域交通計画調整官　牟田 紀彦 様
国土交通省 総合政策局 地域交通課　澁井 健人 様

【内　容】
以下の内容について、国としての考えとレクチャーを受けた。

1） 地域公共交通を取り巻く現状・背景と取組みについて
- 地域交通の現状（路線バス・鉄道・コミュニティバス・デマンド交通）
- 地域公共交通活性化再生法（活性化法）の概要と制定・改正の変遷
- 地域公共交通計画と計画作成の手引き
- アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」
- 地域公共交通予算について（令和4年度補正予算・令和5年度予算案）

2） 取り組み事例の紹介
- 徳島県つるぎ町／輸送資源を最大限活用した地域公共交通計画の作成
- 愛媛県今治市／地域旅客運送サービス継続事業
- 山形県南陽市・三重県菰野市／地域公共交通運行協議会の取り組み
- 北海道帯広市・群馬県前橋市・富山県朝日町・兵庫県神戸市／共創モデル実証プロジェクトの取り組み事例紹介

【議員からの主な質問】

【Q】 京田辺市は、JR と私鉄の2路線に9駅があり、市街地は交通の便が良いが、中山間地や駅から遠い所はバスの便数が少なく、利用者も少ないのが現状。
【A】 京田辺市を調べたが、交通環境的には良い部類に入る。相談に来られる自治体は本当に困っておられるところが多い。

【Q】 MaaS（Mobility as a Service）についての考えは。
【A】 自動運転や MaaS などデジタル技術による「交通 DX」、車両の電化や再エネ地産地消など「交通 GX」、官民共創・交通事業者間の共創・他分野との共創の「3つの共創」

により、利便性、持続可能性、生産性が向上する形に地域交通を「リ・デザイン（再構築）」し、地域のモビリティを確保する事が重要になる。

【Q】滋賀県では県民全員で公共交通を支える「公共交通税」の導入が検討されていたり、地域住民全世帯から、利用の如何に関わらず負担金を徴収し、公共交通を維持しているところもあるが、国の考えは。

【A】滋賀県の件は、ニュース程度しか認識していない。地域住民から負担金の徴収による維持については、実施されている全ての所がうまくいいているとは限らない。

3. 表敬訪問

（1） 西田昌司 参議院議員事務所
【面会者】
・ 参議院議員 秘書官 安藤 高司 様

（2） 吉井章 参議院議員事務所
【面会者】
・ 参議院議員 吉井 章 様

（3） 足立敏之 参議院議員事務所
【面会者】
・ 参議院議員 足立 敏之 様

（4） 田中英之 参議院議員事務所
【面会者】
・ 参議院議員 秘書官 葛城 直樹 様

（5） 京都府東京事務所
【面会者】
・ 京都府東京事務所 所長 島津 誉子 様

以上

京田辺市議会
会派だより
自民一新会 活動報告
Jimin-Isshinkai

会派議員 松村博司 田原延行 橋本善之 岡嶋一晃 久保典彦 榎本昂輔

第3号
令和5年1月
January

発行 京田辺市議会会派・自民一新会 ● 〒610-0393 京田辺市田辺80 京田辺市議会事務局内 TEL.0774 (64) 1380 FAX.0774 (63) 4782

松村 博司（まつむら ひろし）
市議会議長

夢ある未来の京田辺をみんなで創ろう

まちの将来像を市民と共有しつつ、誰もがのびのびとくらせるまち、住み良いまちづくりの実現に向け積極的に取り組んでまいります。

大規模なプロジェクトが進行中。喫緊の学校給食センター新築工事に着手。京田辺の玄関口である田辺北地区土地区画整理事業の新市街地整備。国指定史跡となった天理山古墳群の観光名所としての整備。可燃ごみ広域処理施設の完成に向けた整備。自然災害に向けた危機管理体制の強化、治水潅水被害に向け新田辺排水機場・新西浜樋門の整備。学校施設整備の拡充、避難場所となる施設の洋式トイレの増設、停電に対応した発電蓄電設備の設置、随時空調関係も整備。国道307号線の渋滞緩和策として、大住草内線の新設道路整備に尽力。地域の活性化、企業誘致と雇用の創出。自主財源確保及び国府から交付金・補助金の財源確保に努めます。

「元気な京田辺を創ろう」
- 京田辺市ソフトバレーボール連盟 理事長
- 京都府カローリング協会 理事長
- 日本ボーイスカウト田辺第一団育成会 会長
- 東区開発問題連絡協議会 会長

田原 延行（たはら のぶゆき）
監査委員
総務常任委員会 委員

昨年の暮れからコロナウイスル第８波の波が押し寄せ懸念いたしておりますが、今年は皆様にとってより良い年になりますように心からお祈りいたします。

共生社会の実現 「心のバリアフリー」の意識をもって助け合い、誰もが明るく・楽しく・元気よく暮らせる共生社会の「まち」となるように取り組みます。

渋滞緩和策 都市計画道路大住草内線、松井大住線の事業化及び山手幹線道路４車線化を目指し取り組みます。

この街で暮らしたい 人と自然と産業が共生できる町づくりを目指し、地場産業への支援や企業誘致策を促進し雇用を増やし自主財源確保や次世代へ農業従事者の担い手確保に取り組みます。市民と市政のパイプ役として「京田辺市に住んで良かった」と思えるように人生を懸け精一杯頑張ります。

- 健康ケ丘区 相談役
- 北部住民センター運営協議会 前会長
- 大住土地区画整理組合 顧問
- 松井山手交番連絡協議会 会長
- 大住隼人舞保存会 特別顧問

橋本 善之（はしもと よしゆき）
建設経済常任委員会 委員長
議会運営委員会 委員

新型コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻、急激な円安、物価高騰、地球温暖化、異常気象、頻発する自然災害。悪い出来事を数え上げればきりがありません。しかも昨年の漢字「戦」が現すように戦争が現実味を帯びてきました。しかしワールドカップでの日本チームの美しい「戦」いぶりは、将来のアスリートを夢見て毎日汗を流す子供たちに夢と勇気を与えたことでしょう。

2023年の幕明け

新たな年を迎えて、今年こそは穏やかでいい年になりますようにと願わずにはいられません。皆様が住んでよかったと思える京田辺。終の棲家と思ってもらえる京田辺。常にその想いを胸に抱きながら議員活動を進めてまいります。今年もよろしくお願いします。

- NPOすきなまち京田辺塾 監事
- NPO持続可能なまちと交通を目指す再生塾 ラーニング ファシリテーター
- (一社)関西模型クラブ連合会 理事長
- 都市交通政策技術者の会 会長、区画整理士、測量士

岡嶋 一晃（おかじま かずあき）
文教福祉常任委員会 副委員長
予算特別委員会 委員長
決算特別委員会 委員長

新型コロナは第８波が猛威を振るっていますが、ワクチン接種や飲み薬の承認により重症化率が低下し、ようやく日常生活や経済も長いトンネルに明かりが見えてきました。これまでご苦労を強いられた市民の皆さんに住みよい京田辺市になるよう全力を尽くして参ります。今年こそ新型コロナの心配も無く、皆様にとって良い年になることを願っております。

また、この４年間一貫して小中学校のトイレの洋式化に取り組み、４年前は43%の洋式化率がようやく75%まで改善することができました。今後も教育環境の充実に取り組んでまいります。

地球温暖化による自然災害が各地で猛威を振るっていますが、いつ起るか分からない災害にもしっかりと対応できるよう体制強化に取り組んでまいります。

- 枚方京田辺環境施設組合議会副議長
- 元京田辺市消防団団長／日本防災士認定防災士
- 草内区協議委員会顧問
- 京田辺市社会体育協会 草内支部支部長

久保 典彦（くぼ のりひこ）
議会運営委員会 委員長
会派代表幹事

繋がる！繋げる！「京田辺」

新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き議会運営委員会の委員長、幹事会座長を務めさせていただきます。それぞれ重責を自覚し、日々議員活動に取組んでまいります。

目まぐるしく変化する社会情勢でありますが、市民の皆様が今感じられてる課題などに、真摯に向き合い、私がいつも心掛けている「社会的に弱い立場の方々が住みやすい、住み続けられるまちづくり」に全力で取り組んでまいります。

2023年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、私からの新年のご挨拶とさせてただきます。

2023年もよろしくお願いいたします。

- 自民一新会 幹事
- 自民党京田辺支部 幹事長 ▸予備自衛官
- 京田辺市ソフトバレーボール連盟 理事兼事務局長
- 一般社団法人 山城青年会議所 理事長
- 京田辺バレーボールアカデミー 代表

榎本 昂輔（えのもと こうすけ）
文教福祉常任委員会 委員
広報広聴特別委員会 委員長

「まちづくり」から「都市経営」へ 市民の生活と財産を守ります

昨年、京田辺市は市制25周年を迎えました。平成9年に人口54,000人まで増加した田辺町から、71,313人（令和4年12月1日）のまちに、この25年間で大きく成長しました。

しかし、令和12年の75,406人をピークに人口減少に転じると予想されていることから、余裕のある今だからこそ積極的に、交通利便性を活かした拠点への都市機能の集積、持続的に成長・発展していく施策を推進することが求められています。

多様化する今の時代に地方が生き残っていくためには「都市経営」という観点が必要です。会社経営の経験を生かして、コンサルの描くまちづくりではなく、京田辺市のポテンシャルを生かした「まちづくり」を引き続き進めてまいります。

- 京田辺市生涯学習推進協議会委員
- デジタル庁 デジタル推進委員
- Executive Workers Group CEO
- 一般社団法人 全日本晴れ男晴れ女協会 理事長

自民一新会が国に強く働きかけるなど重点的事業

❶大住工業専用地域拡大事業

高速道路のインターに近接していることから、区画整理組合による企業誘致が進められ、2棟の物流施設延べ床面積約24万㎡が一部2025年の完成に向け整備。

❷大住こども園

市立大住幼稚園を北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園として、教育・保育を一体的に提供する施設を令和５年の完成に向け整備。

❸田辺排水機場、新西浜樋門

木津川の内水排除対策は重要な治水防災対策の一つ。このたび田辺排水機場及び新西浜樋門の整備により、八幡市を始め防賀川の下流地域への治水リスク負担軽減と田辺地域などの治水力向上。

❹田辺北新市街地整備事業

本市中心拠点の新田辺駅及び京田辺駅周辺地域の更なる都市機能の集約を図るため、田辺中央北地区では組合施行土地区画整理事業が計画中。併せて市の文化活動拠点を核とした魅力ある都市に向けた整備。

❺農福連携型公園

Park-PFI制度を活用し、農業体験などを通じて食育や地産地消の啓発、子どもから高齢者、障がいのある人など全ての市民が交流する緑の拠点づくりと魅力の創出を目指して、田辺中学校周辺の田辺公園の拡張整備が令和6年中旬の供用開始に向け整備中。

❻天理山古墳

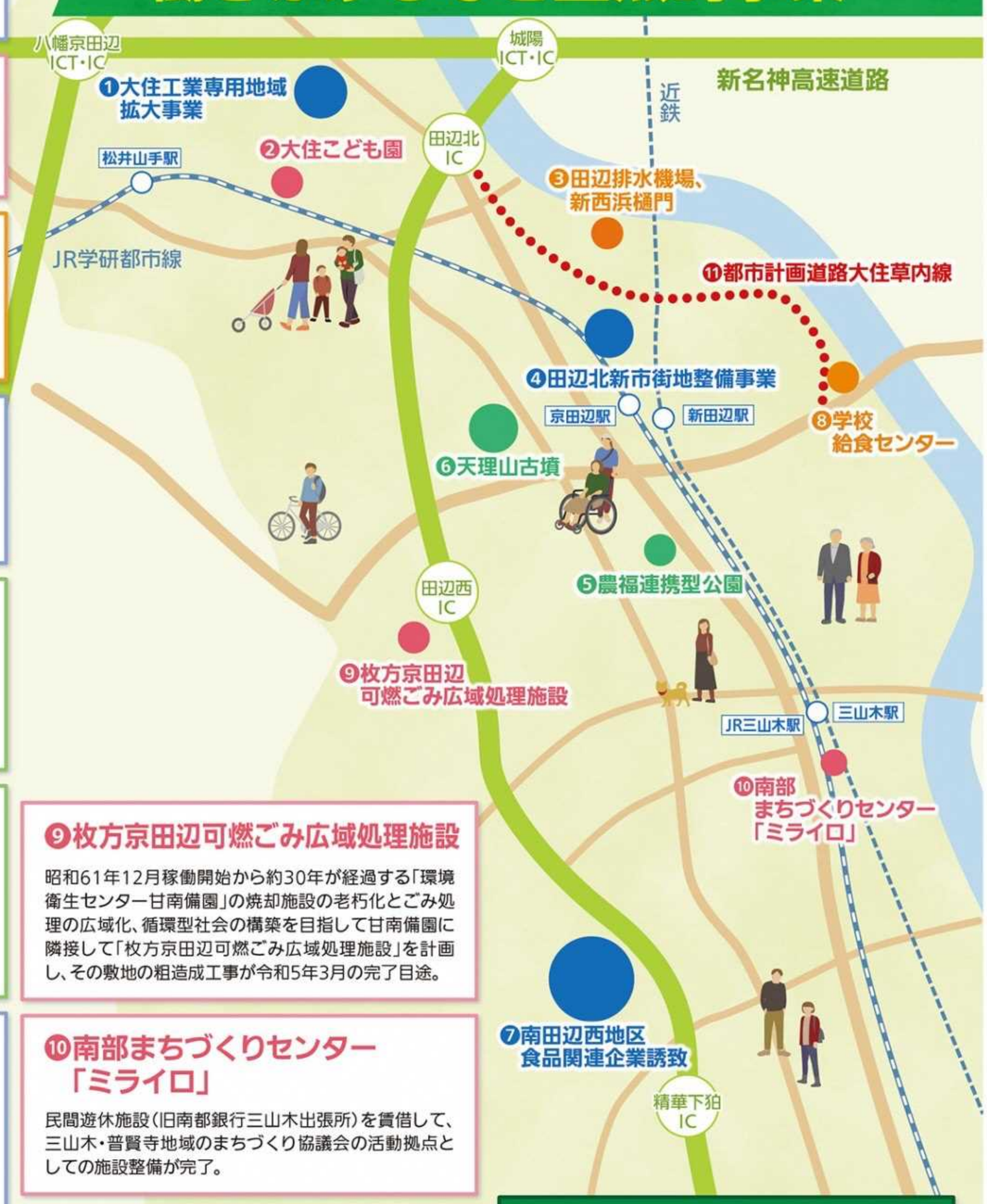
令和3年の古墳調査の結果、古墳時代前期末（4世紀末）の前方後円墳2期と前方後方墳1基が発見され約22億円の用地購入が令和4年3月議会で可決。併せて自民一新会は自民党を通じ国に強く用地費の国庫補助を要望し約8割の補助導入が実現。今後は古墳公園として広く教育や歴史の拠点整備が重要。

❼南田辺西地区 食品関連企業誘致

京都府所有の関西文化学術研究都市の南田辺西地区（約60ha）の殆どの区域では、「職」に関するイノベーション創出の場として「フードテック」分野の研究施設や生産施設の集約を目指し、付加価値の高い次世代型産業用地「スマートバレー」の創出に向けた計画が進行中。

❽学校給食センター

市では、近年の社会・家庭環境の変化に伴い、不規則な食事、栄養の偏り、伝統食の喪失がみられる中、中学生の健康な心身を育むために中学校完全給食の開始に向け学校給食センターを整備中。



❾枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設

昭和61年12月稼働開始から約30年が経過する「環境衛生センター甘南備園」の焼却施設の老朽化とごみ処理の広域化、循環型社会の構築を目指して甘南備園に隣接して「枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設」を計画し、その敷地の粗造成工事が令和5年3月の完了目途。

❿南部まちづくりセンター「ミライロ」

民間遊休施設（旧南都銀行三山木出張所）を賃借して、三山木・普賢寺地域のまちづくり協議会の活動拠点としての施設整備が完了。

⑪都市計画道路大住草内線

大住草内線は昭和54年8月に都市計画決定されているが現在でも未着手道路。田辺北ICから本市中心地へのアクセス道路として、また災害時の迂回道路や物流道路機能を確保する（ミッシングリンク解消）ためには大変重要な道路であり自民党を通じて国に強く整備促進を要望。

経済対策、物価高騰支援

京田辺市特産農産物共同化推進事業を始め燃料価格高騰緊急支援、肥料等農業資材価格高騰緊急支援などの農業支援。経済活性化対策としてキャッシュレス経済ポイント還元事業「がんばる京田辺！応援キャンペーン」。中小企業の省エネ化や生産性向上経営支援などの事業推進。

所属常任委員会報告

京田辺市議会は、3つの常任委員会があり、行政の広範、複雑化、専門化にともない、議案等を合理的かつ能率的に調査、審査します。

総務常任委員会

松村 博司　田原 延行

野外活動センター今後のあり方について

指定管理者制度の導入も視野に入れ、現行の利用条件を見直し施設設置条例にある「市民の余暇の活用を図るため」の目的に沿った施設となるよう提言を行う。

今後の避難所のあり方について

コロナウイスル感染症対策や女性や子供、障がい者など弱者に配慮した避難所のあり方などについて提言を行う。

文教福祉常任委員会

岡嶋 一晃　榎本 昂輔

子ども食堂の取り組み実態と支援のあり方

市内の子ども食堂やフードバンクを調査し、代表者との意見交換や現地視察、先進地視察を行い、市の関連部署の支援実態や意識調査の上、提言としてまとめた。こども食堂は、少子化、核家族化、両親の共働き等で孤独化する子ども達の居場所づくりとして重要な事業。拠点としてはまだ少なく、運営されている人たちはボランティアで人手不足が問題となっている。今後も、しっかりと見守っていく必要がある。

建設経済常任委員会

橋本 善之　久保 典彦

次の2つのテーマについて調査研究をし、市議会ホームページに掲載。

ゼロカーボンシティに関すること

2050年までには温室効果ガスを実質ゼロにすることが世界的な潮流。その実現には行政や市民、事業所が連携し、子孫が暮らしやすい社会の構築が重要。

河川の水害対策に関すること

木津川の内水排除対策と共に市内に6本ある天井川の増水や氾濫など、水害への備えは本市のまちづくりにとって欠かせない重要な課題。